



The Magnetics Society of Japan

概要

- 沿革** 1977年—学振137委員会メンバーを母体に日本応用磁気学会が発足
1982年—社団法人認可
2007年—日本磁気学会に改称
- 分野** 磁気物理、磁性材料、スピンエレクトロニクス、磁気ストレージ、バイオマグネティクス、センサ、アクチュエータ、パワーマグネティクス 等
- 活動** 学術講演会、研究会、専門研究会、国際会議の主催・共催、講習会、国際交流
- 会員** 日本国内・海外より、物理学・化学・工学・生物学や医学など異なった分野から、磁気に関心を持って集まった会員2500名
- 賛助会員** 約100社

所在地

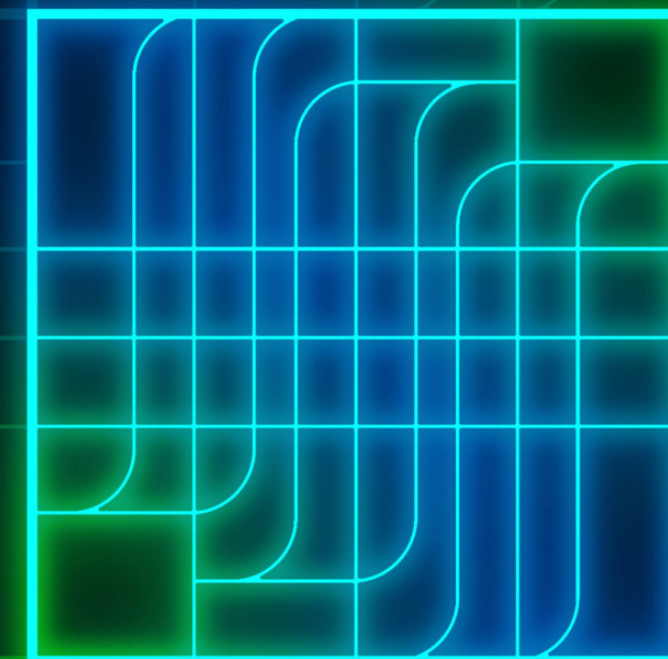
事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-8
三井住友海上小川町ビル5階
Tel. 03-5281-0106
Fax. 03-5281-0107
E-mail: msj@bj.wakwak.com
URL: <http://www.wdc-jp.com/msj/intro/office.html>

アクセス 【JR】
中央線、総武線 御茶ノ水駅 聖橋口より徒歩8分

【地下鉄】
・千代田線 新御茶ノ水駅B3出口より徒歩3分、B5出口より徒歩2分
・都営新宿線 小川町駅B5出口より徒歩2分
・丸の内線 淡路町駅後楽園・池袋方面ホーム：B5出口より徒歩2分、
銀座・新宿方面ホーム：A3出口より徒歩13分



日本磁気学会のご案内



The Magnetics Society of Japan

(社)日本磁気学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj2>

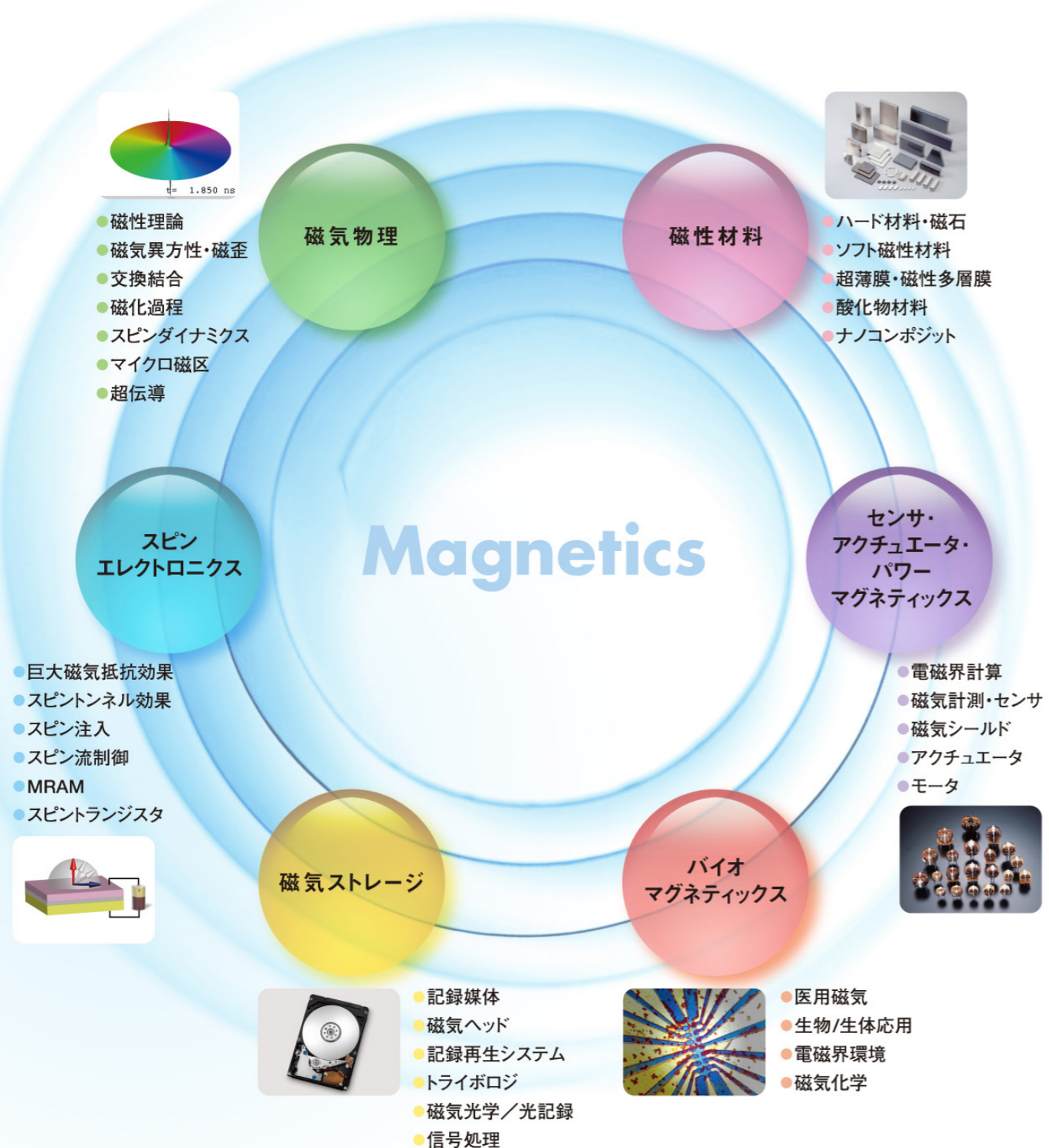
分野
Field

基礎から応用まで、磁気に関する問題を追究。 わたしたちは、日本磁気学会です。

日本磁気学会は、物理学、化学、工学、さらには生物学や医学といった、全く異なった分野の多様な価値観を持つ会員が、磁気・磁性というキーワードのもとに集まって構成されているユニークな学会です。

討議の内容も非常に幅広く、磁性物理や磁性理論、磁性材料、スピンエレクトロニクス、磁気ストレージ、パワーマグネティクス、磁気センサから、バイオマグネティクス・医療応用へと多岐にわたっています。その学問的深さ、広がり、と産業応用への寄与は、計り知れません。

今後も、「国際化」をキーワードに、活動のフィールドは広がり続けるでしょう。



活動
Activity

学術講演会、研究会、講習会から 国際交流まで活動内容も多彩です。

講演・研究発表

学術講演会は、毎年秋に行われます。毎回約1000人の参加者と約450件の研究報告が行われ、熱心に討論が展開されます。また、優れた発表・論文には表彰もあります。

専門研究会

専門研究会は、各テーマごとにおよそ隔月で開催されます。ナノマグネティクス、スピンエレクトロニクス、光機能磁性デバイス・材料、ナノバイオ磁気、化合物新磁性材料、強磁場応用など、学会の主要課題を深く掘り下げる一方で、毎年新規テーマ導入を模索しています。



研究会

研究会では、学会・業界の最先端の話題を特集します。毎回、100名前後が参加し、活発な討議が行われます。

- 環境・省エネルギー問題に資する磁気関連技術
—解決に向けて「磁気」ができることは何か?—
- 極限状態の磁気ストレージ
—超テラビット記録への挑戦—
- 磁性ナノ粒子の検出とバイオメディカル応用
- ハード・ソフト磁性材料における高性能化とナノ組織制御技術

- ベクトル磁気特性技術が拓く次世代電磁力応用機器
- 光と磁気が織りなす現象の新展開

国際交流

下記の国際会議を主催/共催しています。

- INTERMAG、ICM など
- 垂直磁気記録国際会議 (PMRC)
- 熱と磁気に関する国際会議 (MORIS)
- 磁性材料の物理的諸問題国際シンポジウム (ISPMM)

さらに、米国電気電子学会 (IEEE) の Magnetics Society、韓国磁気学会 (KMS)、台湾磁気技術協会 (TAMT)、中国磁気学会 (CMS)、ロシア磁気学会、および英国、ドイツ、フランスなど、国内外の関連学会団体と相互協力および情報交換を行っています。特に、KMS、TAMT、CMS と Asian Union of Magnetics Societies (AUMS) を創設し、アジア地区での磁気研究の活性化をはかっています。



情報発信

WEBや電子メールを利用して磁気に関する最新の情報を発信しています。

- 電子ジャーナル
- 技術情報サービス
- メールマガジン

研究会等の共催・協賛

学会内の活動に止まらず、他学会・協会との共催、協賛を積極的に行うことで、活動の幅を広げています。(毎年30件以上)

講習会

磁性分野を学びはじめた新会員を中心に磁性の基礎を学習するための講習会を、毎年開催しています。

- 初等磁気工学講座 (1日、演習付き)
- MSJサマースクール「応用磁気の基礎」(3日間)
- 公開講座「磁石の不思議な世界」



会員

会員数は、約2500名で、日本国内に止まらず、海外の会員も約50名に達しています。また賛助会員も約100社を数えます。理学と工学の融合を目指して1977年の設立以来、密度の高い活動を続ける日本磁気学会。ネットワークが軽く、内容の濃い情報交換が迅速に行えるのも、わたしたちの学会の特徴です。

表彰

磁性分野の学術の発展に寄与された方に賞が授与されます。毎年開催される講演会において、学会賞、業績賞、優秀研究賞、論文賞、学術奨励賞、出版賞、新技術・新製品賞が表彰されます。

会員特典

学会行事は、全て会員によって運営されています。全ての行事に会員は自由に参加でき、発言できます。その他、数々の会員特典が用意されています。

- 会報誌「まぐね」及び和英論文誌「Journal of the Magnetics Society of Japan」を無料配布します。また、論文誌をWEB上で閲覧できます。
- 講演会に参加して研究成果を発表できます。
- 本会主催の講演会・シンポジウム、研究会・専門研究会などに参加できます。
- 本会の協賛・後援の講演会やシンポジウムなどに会員資格で参加できます。
- 学生会員は、各種講演会、シンポジウム等に格安の学生料金で参加できます。
- 賛助会員の特典は、本会の協賛・後援の講習会やシンポジウムなどに会員資格で参加できます。



入会について

会員種別は、正会員、学生会員、賛助会員の3種です。

- いつでも入会できます。
- 入会手続きについては、ホームページをご覧ください。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj2>

■ 入会金と年会費は、次のとおりです。

| 会員種別 | 入会金 | 会費(年額) |
|------------|--------|------------|
| 正会員 | 1,000円 | 10,000円 |
| 学生会員(学費必要) | 500円 | 5,000円 |
| 学生会員(学費不要) | 500円 | 3,000円 |
| 賛助会員 | | 50,000円/1口 |